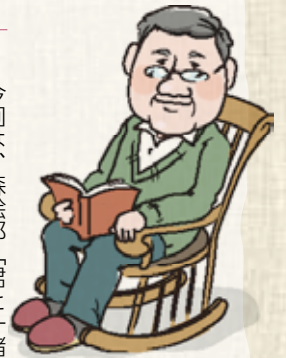


「君と一緒に生きよう」



著者：森 絵都
発行：文藝春秋
ISBN：9784167741051
2012年9月10日 ¥620



今回は、森絵都「君と一緒に生きよう」を紹介します。この本は毎日新聞に連載された後、単行本化され、この9月に文庫本になったばかりのノンフィクションです。作者自身も里親募集サイトで見つけた雑種の犬を、家族として受け入れた事をきっかけとして保護活動についての連載を始める事になりました。様々な境遇の中、飼い主に見捨てられた犬と新しい飼い主との出会い、やがて閉ざされていた心が開き、安寧を得て行くワン達を紹介した事例が14載っています。又、「二子玉川いぬめぐり親会」の様子やボランティアで運営されているシェルター、保健所の収容施設の現状報告など、犬に関する問題が提起されています。この本に登場する犬たちを紹介します。著者がレスキューした「スウ」は何十頭も多頭飼いの犬、経済的に破綻した飼主から引取られた、臆病で飢餓状態の犬。近くでティッシュをシュッと抜いただけで逃げだす極端なビビリ犬、「梅」と「花」の姉妹と、犬の飼育経験が全くない20歳の飼い主、杏さんとの出会いと成長の物語。女王気質で咬み癖のある「くるみ」は新しい飼い主稲垣さんのもとで、怒りん坊の女王様から甘えん坊の女王様へ激変。重度のフィラリアに侵さ

れ、人の手におびえる「マック」と社交性ゼロの先住犬「ポン太」、さらに保健所から引取った「ハナ」と「リュウ」、4頭分の楽しさと苦勞を引き受けた松澤家。幼い迷い犬2頭、ミスティーとモモを迎え入れた宮路さん、病弱な2頭の治療費と食事は大変なもの、現在は老齢化したミスティーのために午前2時半から行動開始、彼女はこう言います「犬の介護に必要なのは気力・体力・そして財力です」。千葉の山中に捨てられた「マレア」と7頭の子犬、軽部さん一家の長男、功一君は犬が恐くて触ることができません。そんな彼が選んだ子犬は超ビビリ犬の「マナ」。一周間経ってもハウスから出てこないマナと犬アレルギーが出てしまった功一君、マナが人間に対して初めて尻尾を振ったのは、一家に迎えられて一か月がたった頃。その後、功一君も犬アレルギーを克服し、現在は母犬の「マレア」も軽部家の一員に。

最後に、著者は連載を通じてこのような心配をしています「犬を捨てても、親切な人たちが救って、新しい飼い主を探してくれるようだ」と、能天気な誤解（あるいは都合のいい捉え方）をする人が現れかねないことだ。私がここで取り上げているのは、年間数十万頭と捨てられ、葬られていく犬たちの、ごくごく希な一例に過ぎない。捨てられた犬は死ぬ。それはもう目を覆うほどの確率で。」

今月の保健だより
平成24年度の狂犬病予防注射
や各種届出はお済みですか？

本年度の飼い犬への狂犬病予防注射はお済みでしょうか？

飼い犬には、1年に1回の狂犬病予防注射が義務付けられていますので、未実施の方は、至急に動物病院で受けさせてください。正当な理由なく狂犬病予防注射を受けさせなかった飼い主は、狂犬病予防法により罰則が適用される場合がありますので御注意ください。

また、飼い犬を別の方に譲った、引越した、亡くなった等の場合、保健所への届出が必要となりますので、下記連絡先まで電話をお願いします。

「動物病院より狂犬病予防注射済の証明書（狂犬病予防注射済証／紙面）を受け取った方は手続が必要です」
動物病院より狂犬病予防注射済の証明書（狂犬病予防注射済証／紙）を受け取った場合は、保健所生活衛生課で狂犬病予防注射済票の交付（交付手数料1頭につき550円）手続きが必要です。この手続きを済まされないで狂犬病予防注射を受けたことにならないため、早めに保健所に来所をお願いします。

「犬及び猫の飼い方講習会について」
犬及び猫の飼い方講習会を左記のとおり開催します。事前申込みが必要です。

- ◆犬の飼い方講習会 講義
10月13日（土）、12月1日（土）、2月2日（土）
- ◆犬の飼い方講習会 実技
11月10日（土） ※対象は講義出席者のみ
- ◆猫の飼い方講習会 講義
1月26日（土）

問い合わせ先 郡山市保健所生活衛生課動物愛護係 〒963-8024 郡山市朝日2丁目15-1
☎024・924・2157 ☎024・934・2860 E-mail：sei-eisei-aigo@city.koriyama.fukushima.jp